



経済産業大臣賞(2件)

経済産業大臣賞 「事業所・地方公共団体等」分野

受賞者名

平林金属株式会社

取組の実践場所

岡山県岡山市

受賞テーマ

全国初の市民参加型資源集積システム「えこ便」

受賞者は、全国初となる BtoC、CtoB 型の有人式リサイクルサービス「えこ便」を 2015 年 7 月にスタートした。「えこ便」は、市民が持ち込む「場と仕組み」を提供することで、小型家電、金属類、古紙などの一般家庭で不用となったものを集積し、自社のリサイクルプラントで再資源化を行って資源の国内循環を推進している。

また、有人式の優位性を活かして、全国的な問題となっている「無許可の不用品回収業者」について利用者に、啓発・情報発信をしていくことで社会に向けて正しいリサイクルを促し、市民参加型で「循環経済」「SDGs」を目指していくモデルケースのひとつになればと考えている。

「えこ便」は、小型家電リサイクル法における国の認定事業者として関係法令を順守した形のサービスを提供することで、利用者にとって、自動的に正しいリサイクルの輪に加われる、安心して適正な資源再生ネットワークとなっている。雇用面では、リサイクルの職場は男性比率が高いことが一般的であるが、「えこ便」では女性比率が 6 割を超え（所属 30 名中 20 名）、これまでの同社にはなかった、新たな雇用と女性活躍の場を生んでいる。

従来の自治体方式では排出時に曜日の指定や持ち込み予約・処理費用などの問題があったが、「えこ便」では定休日を平日に設けたこと、予約不要でいつでも持ち込めること、従来は不燃ごみや粗大ごみとして処分されていた使用済み小型家電や自転車などの金属類も IoT を活用したシステムで種類と重量に応じてポイントを付与して有価物として回収していることなど、利用者にとって利便性を大幅に向上させることができています。加えて、従来の「廃品回収」「資源ごみ」のイメージを覆す、清潔感のある施設づくりからスタッフのユニフォームに至るまで統一したデザインを用いるなど、利用しやすい環境づくりにも力を入れている。

また、夏休みを利用した「リサイクル教室」を毎年開催し、次代を担う若い世代に正しいリサイクルについての啓発を行うと共に地域コミュニケーションの機会ともなっている。

今後も、商業施設とタイアップした古紙回収 BOX「eポスト」やえこ便局の展開を進めることで、効率的な運営と利用者のさらなる利便性の向上に加え、商業施設にも集客等のメリットのあるビジネスモデルを構築していこうとしている。



(上) ネットワーク図 (下) 施設の様子